

6月の広布史クイズ

第1問

6月6日は初代会長牧口常三郎先生の誕生日です。教育者であった牧口先生は、白金尋常しろかねじんじょう小学校の第9代の校長に就任しました。

その際、地理の教育に力を入れていた牧口先生は、地球儀ちきゅうぎを教材に授業を行いました。その地球儀の大きさは次のうちどれでしょう？



選択肢

- ① 直径約2m
- ② 直径約1m
- ③ 直径約50cm

6月の広布史クイズ

第1問

6月6日は初代会長牧口常三郎先生の誕生日です。教育者であった牧口先生は、しろかねじんじょう白金尋常小学校の第9代の校長に就任しました。

その際、地理の教育に力を入れていた牧口先生は、ちぎゅうぎ地球儀を教材に授業を行いました。その地球儀の大きさは次のうちどれでしょう？

- ①直径約2m
- ②直径約1m
- ③直径約50cm

(正解) ①直径約2m

(解説) 地理を専門としていた牧口先生は、専門家に特別に作らせた直径約2mにも及ぶ地球儀を使って、子どもたちに授業をしていました。運動会の際の、校庭の桜の木にこの地球儀が下げられた写真が今でも残っています。

児童の個性を尊重し、理論と実際とを結びつけながら教えていくのが牧口先生の教育方針です。その目的は「どうすれば子どもたちのためになるのか」との子どもたちの幸福であり、ここに創価教育のえんげん淵源があります。



6月の広布史クイズ

第2問

6月7日は高等部結成記念日です。1978年から歌い継がれてきた高等部歌「正義の走者」に、2010年、池田先生が加筆され、新たに未来部歌として発表されました。新たに加筆された歌詞は2カ所あります。次のうち正しくないものはどれでしょう？



選択肢

- ① 「この身の^{かなた}彼方は新世紀」→「この身の彼方は新時代」
- ② 「嵐も吹雪もいざや^ゆ征け」→「苦勞の道をいざや征け」
- ③ 「七つの鐘の走者なり」→「勝利の旗の走者なり」

6月の広布史クイズ

第2問

6月7日は高等部結成記念日です。1978年から歌い継がれてきた高等部歌「正義の走者」に、2010年、池田先生が加筆され、新たに未来部歌として発表されました。新たに加筆された歌詞は2カ所あります。次のうち正しくないものはどれでしょう？

- ①「この身の彼^{かなた}方は新世紀」→「この身の彼方は新時代」
- ②「嵐も吹雪もいざや征^ゆけ」→「苦勞の道をいざや征け」
- ③「七つの鐘の走者なり」→「勝利の旗の走者なり」

(正解) ②「嵐も吹雪もいざや征け」→「苦勞の道をいざや征け」

(解説) 高等部は1964年6月7日に結成されました。それから14年後の1978年、高等部歌「正義の走者」は発表されました。

長きにわたり歌い継がれてきた高等部歌「正義の走者」は、2010年、池田先生が^{えいごう}未来永劫に広布のバトンは受け継がれていく、との思いを込めて、新たに歌詞を加筆され、未来部歌として生まれ変わりました。

新たな未来部歌とともに高等部は、2030年、学会創立100周年の勝利山を目指して、大いなる飛翔を開始していきます。



6月の広布史クイズ

第3問

6月30日は学生部結成記念日です。学会歌「広布に走れ」はもともと学生部歌として発表された歌です。

学生部がこの歌を歌う時、歌詞の一部が今の歌詞とは変わります。それは次のうちどれでしょう？



選択肢

- ① 「世紀の勇者」
→ 「英知の勇者」
- ② 「^じ地^ゆ涌^{ほま}の誉れ」
→ 「学徒の誉れ」
- ③ 「語り尽くさなん 銀波をあびて」
→ 「語り尽くさなん 真理を求め」

6月の広布史クイズ

第3問

6月30日は学生部結成記念日です。学会歌「広布に走れ」はもともと学生部歌として発表された歌です。

学生部がこの歌を歌う時、歌詞の一部が今の歌詞とは変わります。それは次のうちどれでしょう？

- ①「世紀の勇者」→「英知の勇者」
- ②「^じ地^ゆ涌の^{ほま}誉れ」→「学徒の誉れ」
- ③「語り尽くさなん 銀波をあびて」→「語り尽くさなん 真理を求め」

(正解) ②「地涌の誉れ」→「学徒の誉れ」

(解説) 「広布に走れ」は、1978年6月30日、学生部結成21周年を記念した学生部幹部会の席上、新学生部歌として発表されました。

新学生部歌を作ろうとする有志の取り組みを知り、池田先生が「後継を託す諸君のために後世に残る学生部歌を作ってあげよう」と作詞作曲を手がけて誕生しました。「広布に走れ」の2番の歌詞にある「地涌の誉れ」の部分は、発表当初「学徒の誉れ」となっていました。

今でも学生部がこの歌を歌う時は、「学徒の誉れ」と歌います。先駆の学生部を先頭に、「広布に走れ」を高らかに歌いながら広宣流布の道を力強く走ってまいりましょう。



6月の広布史クイズ

第4問

1964年6月30日、池田先生は創価大学の設立構想を発表され、昨年は構想発表から50周年の節目を迎えました。

創価大学の建学の精神は「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設のようらん揺籃たれ」「人類の平和を守る●●●たれ」です。この●●●に入る言葉は、次のうちどれでしょう？



選択肢

- ① ライトハウス (灯台)
- ② ホープ (希望)
- ③ フォートレス (要塞)ようさい

6月の広布史クイズ

第4問

1964年6月30日、池田先生は創価大学の設立構想を発表され、昨年は構想発表から50周年の節目を迎えました。

創価大学の建学の精神は「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の^{ようらん}揺籃たれ」「人類の平和を守る●●●たれ」です。この●●●に入る言葉は、次のうちどれでしょう？

- ① ライトハウス(灯台)
- ② ホープ(希望)
- ③ フォートレス(要塞^{ようさい})

(正解) ③ フォートレス(要塞)

(解説) 池田先生は、1964年に創価大学設立構想を発表します。時は1960年代、大学紛争の嵐が吹き荒れる時代です。大学設立に至る経緯には並々ならぬ困難がありました。

しかし、恩師・戸田先生の「大作、大学を作ろうな」との言葉を命に刻みつけていた池田先生は、師の構想の実現に向けて開学を果たします。

その創価大学の建学の精神の3番目には、軍国主義と戦った牧口先生、戸田先生から続く、平和思想の実現を担う使命を受け継ぎ、人類の平和を守る^{要塞}フォートレスたれ、との精神が刻まれています。

